

# かっぱ通信

2021年6月26日

vol. 137

発行 北川かっぱの会

<http://kitagawakappanokai.la.coccan.jp/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

すっかりご無沙汰  
梅雨空号

## かっぱの楽校 生き物講座 第107回



「生きもの講座」は100回連載を記念し、表紙ページでお届けしています。

◀クヌギに集まるカブトムシ

### カブトムシの常識が変わる？！

今回はカブトムシについてのお話しです。カブトムシは昆虫の代表格と言っても過言ではないでしょう。でも、カブトムシは害虫でも益虫でもないの、意外なことにカブトムシを学術的研究はさほど多くはないそうです。早い話が、毒にも薬にもならない研究には、なかなか予算が付きにくいというのが理由のようです。

ところでカブトムシは昼間はどのように過ごしていると思いますか？よく木の根元にもぐっていると想われていますが、案外カブトムシは土にもぐるのが苦手で、暑い日中は木の梢の風通しの良い所で過ごしています。

最近「日本に生息するカブトムシは完全な夜行性」という常識を覆した山口大学の研究が話題になりました。埼玉県の小学6年生の柴田亮さんは、山口大学大学院創成科学研究科（理学部）の小島渉講師と共同で、シマトネリコに集まるカブトムシは、必ずしも夜行性ではなく昼間も活動することに着目。この研究はアメリカの生態学専門誌

『Ecology』に掲載されました。柴田さんは2019年と2020年の夏、自宅庭のシマトネリコに集まるカブトムシの数を1日3～5回、毎日カウント。その結果、夜が明け完全に明るくなっても多くの個体がシマトネリコで採餌や交尾を行っていました。2020年にはカブトムシに油性マジックで識別マークをつけ、162の個体調査から、多くの個体は夜間にシマトネリコに飛来し、日中もそのまま同じ木にとどまり続けていることが判明。その活動はクヌギでみられるものと全く異なるものでした。

今年の夏はシマトネリコの木のカブトムシに着目ですね。(中谷)

## 追悼 三島 悟氏

3月14日、北川かっぱの会の創設者・前代表の三島悟さん(72歳)が肺がんのため逝去されました。葬儀は家族葬で営まれたとのこと。三島さんは発病後、自らの意志で積極的な治療は受けずに、亡くなる直前まで南伊豆町のご自宅でお酒を楽しまれていたとのこと。北川かっぱの会の会員一同、またMARUや茫々亭などでの個人的なお付き合いのあった方々も、突然の訃報に驚くとともに深い悲しみにくれました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



三島さんは1991年に起きた北山公園再生計画反対運動に参加し、市民団体「北山公園連絡会」の一員として北山公園の里山としての自然環境を守っていくための運動にのめり込んでいきました。反対運動では市民と行政等との激しい対立が続きましたが、三島さんは行政との話し合いによる解決を目指すことに力を注ぎました。「北山公園連絡会」のメンバーには強硬派(戦術を重視する派)と話し合い派(話し合いによる解決を重視する派)がいましたが、この内の話し合い派のメンバーが中心となり、1995年に10名弱で北川かっぱの会が誕生しました。

北川かっぱの会創設後は、市と市民、市民団体とのパートナーシップ路線が本格化しました。北川かっぱの会は行政との協働により、1995年から北川クリーンアップを、1996年からは北山わんぱく夏まつりをスタートさせました（現在も継続中）。また、1996年には市の呼びかけにより市内の4つの自然保護団体が参加する「水と緑の市民懇談会」が、1998年には市民団体側の提案による「緑の基本計画を考える市民会議」が発足し、市政への市民参加が本格化して、市の環境や緑化行政に大きな影響を与えていくことになりました。さらに、1998年には、北川かっぱの会が「未来の川へ 北川復元プラン」をまとめて市に提言、その後市の真摯な対応の結果、2004年に北川のコンクリート護岸が剥がされて自然護岸に、2005年に粗石付双斜曲面式魚道の完成に至るなど、北川や北山公園の環境保全につながっていきました。これらの市民側の活動の中心には、常に三島さんがいました。そして北川や北山公園でのこれらの成功事例は、他の市内や多摩地域などの事例に大きな影響を与えていきました。



三島さんの残した足跡は余りにも大きく、市政や市民に大きな影響を与えてきたと思われます。残された我々は、三島さんが築き上げてきた路線を継承し、発展させていかなければならないと思います。（ベジタ清水）

### 三島さん、ありがとうございました

平成10年、初めて三島さんにお目にかかったのがついでこの間のようなようです。環境問題他多くのことに大変造詣の深い三島さんに、いろんな場面でいろんなことを教えていただきました。まだまだ教えてもらいたいことがいっぱいあったのに……。ありがとうございました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。（ビー永島）

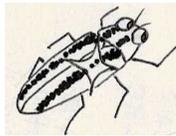
### 『三島さんを偲んで』

三島さんは、北川かっぱの会にとって多くの足跡を残していただきました。コンクリート護岸剥がし自然護岸化、川に降りられるよう棧橋設置等があげられます。三島さんは、わんぱく夏まつりを行政の協力も得て立ち上げました。音楽バンド、踊り、紙芝居、カヌー等、魚とり、売店と多種多彩の参加があり大変な盛り上がりでした。これも、三島さんの人脈で多くの方の協力を得られたことで実施できたことです。

また、三島邸離れでいろりを囲んで、三島さんのふるまい料理で、皆でわいわいがやがや議論だか、愚痴だかを話あったのが懐かしく思います。三島さん、心からご冥福をお祈りします。（吉田）

— 三島さんの思い出、次号でも投稿をお待ちします。 —

## 北川かっぱの会の原点 (第6回) 環境学習がはじまった頃



北川かっぱの会では、1995年の創設当初から「遊びの遺伝子を未来に引き継ぐ(=里山や里川の環境を守って次世代の子供たちに野や川で遊ぶ楽しさを引き継ぐ)」ことを大きな目標として活動を行ってきました。この目標を具現化していくための一つのステップとして「北山わんぱく夏まつり」や「川あそび」などを開催してきました。1980年代には地球規模での環境の悪化や南北問題などを背景に、新しい教育の重要性が説かれていましたが、主として民間による「自然学校(自然を舞台に教育を展開する施設を拠点とする学校等)」はこれらに応える形で始まりました。北川かっぱの会の上記の活動は、歴史的に見て「自然学校」の流れの中にありましたが、1990年代の後半になると、教育行政側からの要請による環境学習が始まりました。

日本の教育行政は、1996年の中央教育審議会による「生きる力」の提唱から1998年の「総合的な学習の時間」の創設(2002年から本格的に実施)につながりました。「生きる力」とは、いかに社会が変化しようと、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力など自己教育力であり、また自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を持つことであると考えられました。そして、「生きる力」をつけていく場として「総合的な学習の時間」が設置されました。「総合的な学習の時間」では、環境教育や環境学習の推進に弾みがつくことになりました。



この流れを受け、北川かっぱの会では、1999年より総合的な学習の時間(当初の試行的な取り組み)で水の汚れや魚、野鳥などをテーマに、化成小と回田小、萩山小で講師を引き受け始め、2002年からの本格的に実施につながっていきました。近年では北山小と化成小を中心に、魚や野鳥、外来生物、北川のゴミ、里山の歴史などのテーマで講師を引き受けています。



土曜子ども講座(東村山市の独自事業)は2002年の富士見小・南台小での開設を皮切りにスタートし、翌2003年には市が予算措置を講じたのと同時に市内全域の小学校に広がりました。開設の背景としては、総合的な学習の時間と同様に、従来の教科学習の枠が取り払われ、自然体験やボランティア活動をはじめとした社会体験などの学習を通じて問題解決型の学習が目指されていたこと、このような学習は学校の中だけでは完結せず地域社会に開かれた形で実施していく必要があったことなどが挙げられます。さらに、公立小中学校等での完全週休二日制の実施を機に、子供たちの土曜日の受け皿が求められていた背景もあります。北川流域では北川かっぱの会が講師をつとめて2006年から北山小、富士見小・南台小の活動の舞台となり、魚とりや虫とり、プールのヤゴ救出、ホタル観察、野鳥観察などのテーマで、今日まで講座が続いています。

北川や北山公園、八国山での水遊びや野遊び、また総合的な学習や土曜講座での学びを通じて、「遊びの遺伝子を未来に引き継ぐ」ことができると願っています。(ベジタ清水)



### 報告北山小土曜講座 野鳥観察会

3月27日、子ども4名、保護者1名、スタッフ3名で野鳥観察会を行いました。コロナ禍の中、今回の野鳥観察会が、北山小わんぱく講座で唯一実施できた土曜講座となりました!

お天気に恵まれ、桜がきれいに咲く中、双眼鏡を手に北山公園や八国山をゆったりとめぐりました。もちろん、たくさんの野鳥を見ることができました。ハクセキレイ、キセキレイ、カルガモ、アオサギ、ハシブトカラス、キジバト、ドバト、ジョウビタキ、ウグイス、マヒワなどなど…

そうそう、今回は珍しい野鳥にも会えました。猛禽類のツミです!野鳥の写真撮っている方が子ども達に教えてくれました。絶滅危惧種であるツミの顔(メスで、結構可愛い!)をフィールドスコープでアップで見られたときは、子どもだけじゃなく大人もワクワクしました。それから、ウグイスは鳴き声はたくさん聞くのですが、なかなか姿が見られません。あきらめかけた頃、木に止まっているウグイスを偶然見ることができました。



来年度は、もっとたくさんの土曜講座が開催できることを心より祈って止みません!(藤)

## 報告 総会で2021年度の活動方針等を決定

北川かっぱの会では3月13日(土)に総会を開催しました。総会では、2020年度の活動報告、2021年度の活動方針、2020年度決算、2021年度予算、2021年度執行体制が承認されました。承認された2020年度の活動総括と2021年度の活動方針については、当会のホームページで見ることができます(「北川かっぱの会」で検索)。総会では、例年以上に活発な議論が繰り広げられました。

総会で特に議論となった事項としては、

①**生物多様性東村山戦略**の策定の議論で大きなテーマとなっている、市民協働で実施する**いきもの調査**について、具体策を検討の上、市と協議していくこと。

②市の「公園のあり方」報告書に基づく**指定管理者制度の導入等の施策**について**注視**し、特に北山公園について今後も環境の保全が図られていくことができるよう働きかけていくこと。

③市との協定に基づく北山公園内の外来生物捕獲活動を継続していくとともに、新たにトレイルカメラを設置して**アライグマ等の実態調査**に着手すること。

がありました。また、個々の活動を行っていくにあたっては、

④個々のイベントでは、できるだけ多くの人に声がけし役割を担ってもらい、**組織の更新**を目指していく方向とすること。

⑤**新型コロナウイルスによる感染防止対策**では、各イベントは参加者の安全を第一に考え、決して無理をして開催しないこと、開催する場合には万全の感染防止対策を講じた上で実施すること、**今年度は少人数が参加するイベントを中心に開催する方向**とすること。

などの点について議論を深めていきました。



2021年度も引き続き、北川かっぱの会へのご理解とご支援をお願いいたします。なお、会員の皆様方には「かっぱ通信 137号(本号)」と一緒に、別刷で決算や予算、新役員についてお知らせしています。

## 報告 北山生き物クラブ 活動始めました！ が・・・

4月10日(土)の午後、予定通りに活動といっても、周辺で採集した、今年度(今年)第一回目の生き物クラブ活動、北山公園の善行橋入り口近くで行いました。主に水生生物の展示紹介です。訪れる人に生き物を通して、それらを育む北山公園や北川の環境に興



味を持ってもらうのが目的です。そして、願わくば一緒に活動してくれる仲間を募りたいとの思いもあります。当日は、午前中に行われた定例川そうじの合間に捕ったエビや魚と、外来生物捕獲作業でカゴ網等に入

ったカエルやザリガニなどを展示しました。サクラの花が終わり、初夏を思わせるような陽気の中、散策する人や網を持って公園を訪ねてくる親子が水槽の前に足を止めてくれました。



…当会ブログにも掲載済みですが、再びの緊急事態宣言発令に伴い、残念ながら5月と6月の活動は中止しました。7月以降再開できればいいのですが…〈康〉



## 2021年7月～9月 活動スケジュール

**ホ**は **ホランティア募集** の略、**会**は会員のみの略  
性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かつぱの会)  
または直接会員にお知らせください

**コロナウイルス感染防止のため、変更、中止となることがあります。**  
**「かつぱブログ」等で最新の情報の入手をお願いいたします。**

### 定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時

7/10、8/14、9/11(土) 集合:北山小正門前 **ホ**

北川いきものクラブ**ホ**(魚とりなど)

毎月第2土曜 7/10(土) 13-15時、8/14(土) 9-12時、9/11(土) 13-15時

北山公園善行橋付近で北川や北山公園でとれた魚等の展示と魚とりなど(雨天順延)。8/14はザリガニ釣り体験も実施。

### 北山公園の外来生物駆除

北山いきものクラブと同日時。これ以外の点検日は「かつぱブログ」等に掲載。

### 小学校土曜講座

5月～7月は中止。9月以降は未定。

### 北山わんぱく夏まつり

今年は中止します。なお、8/14(土)9～12時に「北山いきものクラブ」の拡大版を開催。

### 川端会議 9/18(土)10～12時

(東村山市主催)市民センター。北山公園周辺の環境整備について、市、市民、市民団体の話合いの場。誰でも参加可能です。

### 北山公園外来種防除イベント

(市主催)9/25(土)AM 北川かつぱの会協力、詳細は市報9/1号に掲載

## かっぱの会定例会

7/4 (日) 15:40~17時頃 中央公民館第2集会室(市民生きもの調査などを検討)

8/28 (土) 16~17時頃 中央公民館第2集会室(11月頃までの予定について検討)

## 多摩湖緑地・原風景を守る会活動日程

7/4 (第1日曜) 9:00~

7/17 (第3土曜) 13:30~

7/21 (第3水曜) 13:30~

畑にて維持管理作業と収穫と落葉かき

## 北川かっぱの会刊行物

### 『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料82円。新一般会員には無料贈呈

### 『北川流域マップ-未来の川へ-』

北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

### 『八国山・北山公園の

### 生き物観察ガイド』

A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。

### 『北川・八国山・北山公園

### いきものマップ』

かっぱの会20周年記念発刊。

北川・八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主体に示したマップ。観察会などイベントで無償配布。A2両面版。

## お詫び

長期にわたる緊急事態宣言により印刷室が使用できなかったため、本号の発行が遅れましたことをお詫びします。

## かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

●会費 一般会員：年間3000円  
支援会員：2年間で2000円  
学生は2年間で1000円

「かっぱ通信」年5回をお送りします。

### ●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

### ●会費振込先

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店  
(普)3605694〕

加入者名 北川かっぱの会

●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いています。

●編集後記 東村山移り住んで約20年。三島さんに出会い、その人脈とかっぱの会につながって東村山のカルチャーにすっかり染まった。ここに移り住むころから人生多いに変化した。いろいろなことを始めた。人との出会いで変わる。当たり前のことだが、三島さんを失い改めて思う。三島さんのご冥福を祈る。(遊星歯車)

### ●発行：北川かっぱの会

連絡アドレス

CZT12221@nifty.ne.jp



